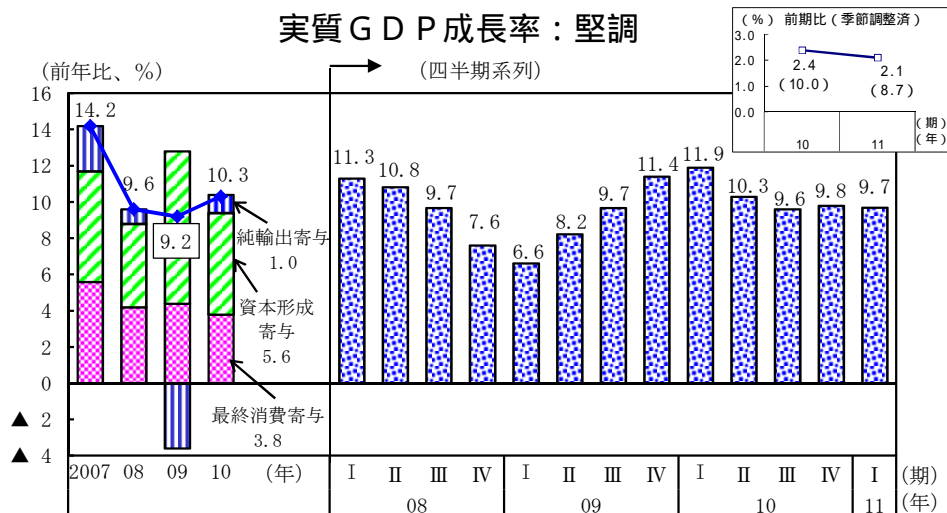


アジア経済 : 中国

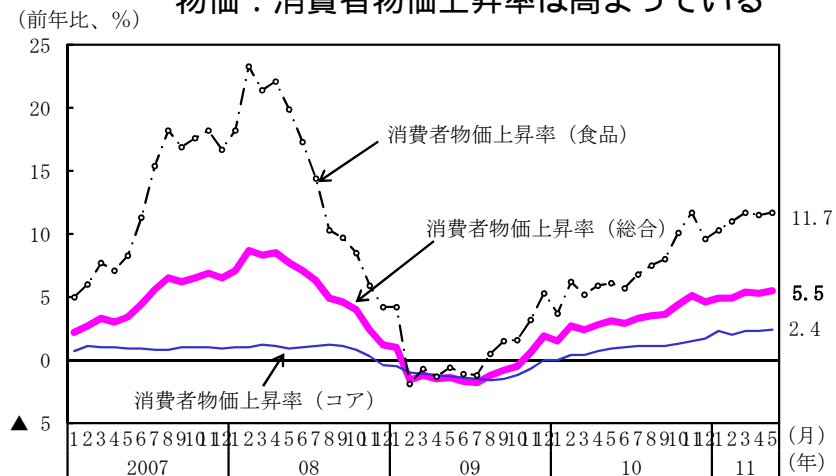
中国では、景気は内需を中心に拡大している。先行きについては、拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、不動産価格や物価の動向に留意する必要がある。

実質GDP成長率：堅調



(備考) 1. 中国国家統計局より作成。
2. 前期比のグラフの()内の数値は内閣府試算による前期比年率。

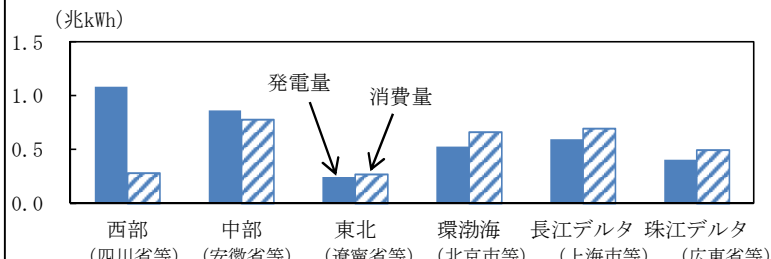
物価：消費者物価上昇率は高まっている



(備考) 1. 中国国家統計局より作成。
2. コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。
3. 中国政府は、11年の目標を4.0%としている。

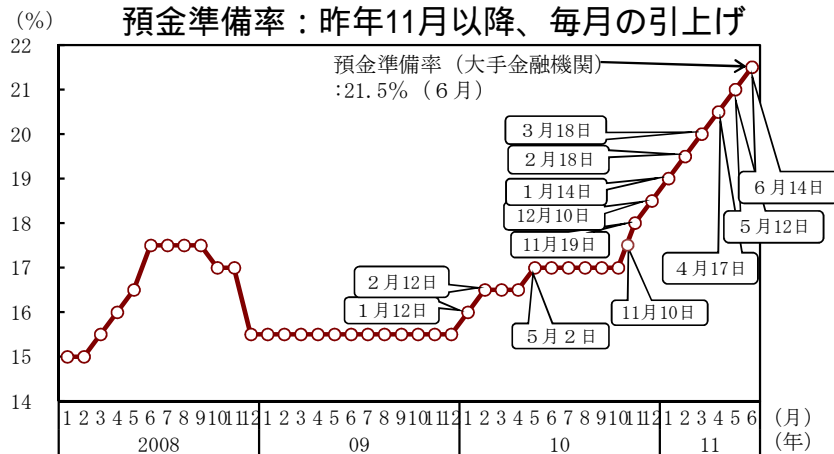
夏に向けて電力不足が深刻化

夏に大規模な電力不足が発生するおそれ。主な要因は、以下のとおり。
 石炭価格が上昇しているが、電力価格が規制されているため、火力発電所の稼働率が低下していること
 長江(揚子江)流域を中心に干ばつが発生し、水力発電に影響を及ぼしていること
 送電網の未整備のため、西部等で発電した余剰電力を電力不足の沿海部に十分に送電できないこと等。



(備考) 1. 中国電力企業連合会より作成。
2. 2009年のデータ。

預金準備率：昨年11月以降、毎月の引上げ

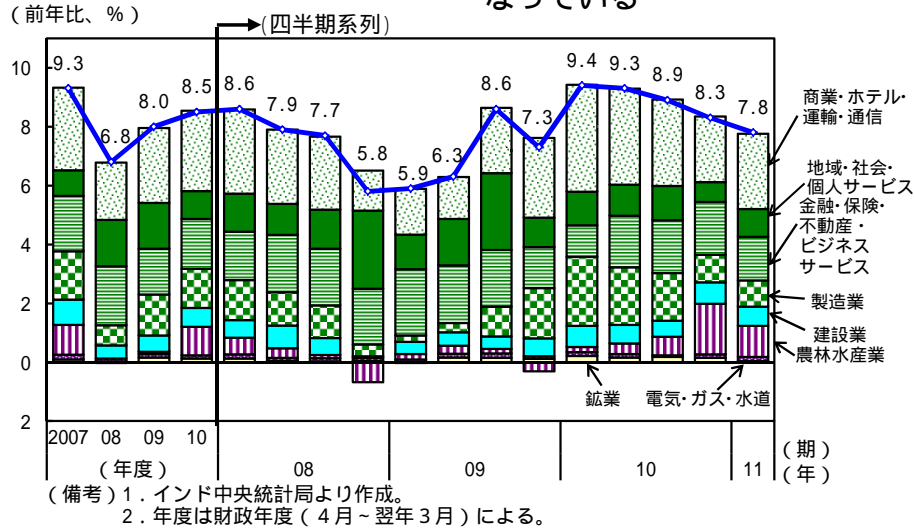


(備考) 1. 中国人民銀行より作成。
2. 08年7月以前は大手金融機関の預金準備率が公表されていないため、全体の預金準備率としている。
3. 日付は預金準備率の引上げ発表日。
4. 11年1月30日、中国人民銀行が発表した2010年第4四半期貨幣政策執行報告によると、マクロ・ブーデンス強化及び貸出と流動性の総量調節のため、差別的な預金準備率を実施するとしている。

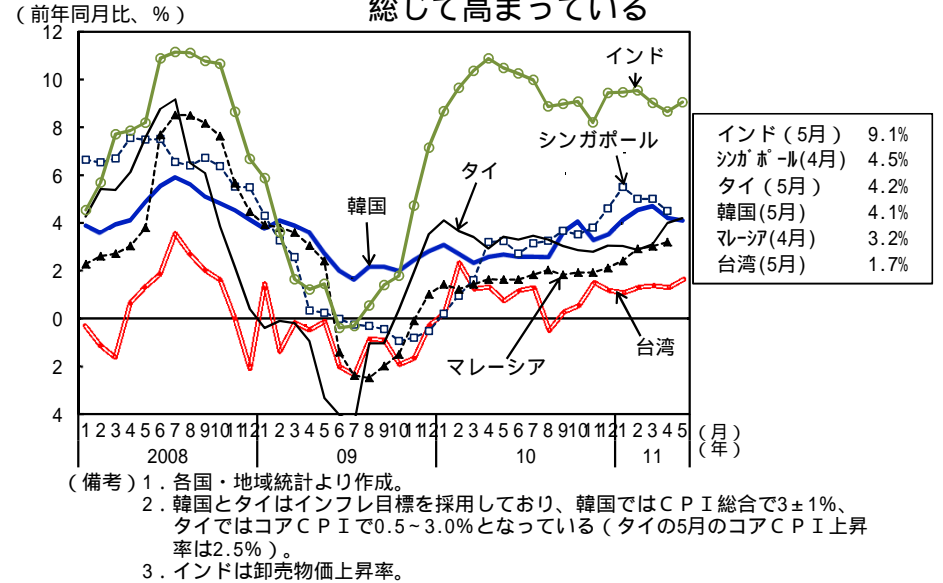
アジア経済：インド及びその他アジア

インドでは、景気は内需を中心に拡大しているが、拡大テンポがやや緩やかになっている。
 先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、物価上昇によるリスクには留意する必要がある。
 その他アジア地域では、総じて景気は回復しているが、このところ弱い動きも見られる。
 先行きについては、回復傾向が続くと見込まれる。ただし、欧米向け輸出の動向や物価上昇によるリスクに留意する必要がある。

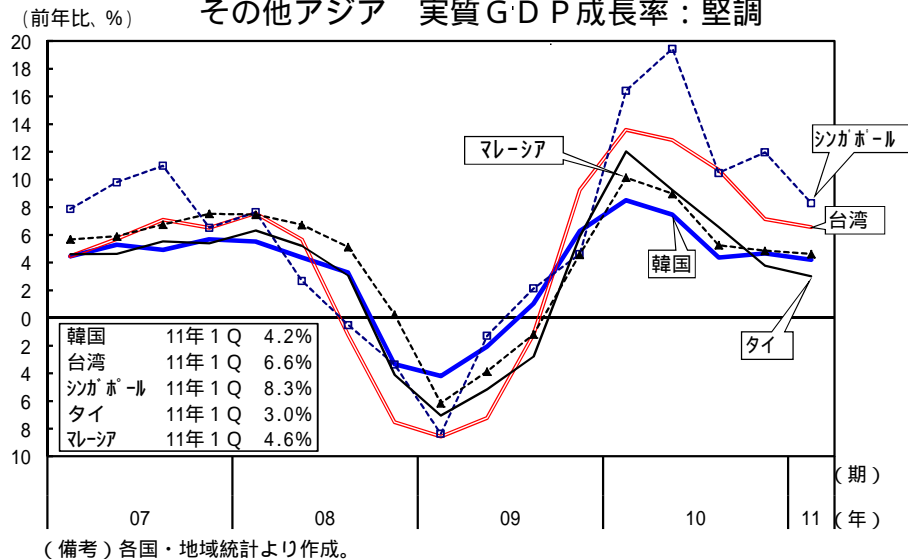
インド 実質GDP成長率：拡大テンポが緩やかに なっている



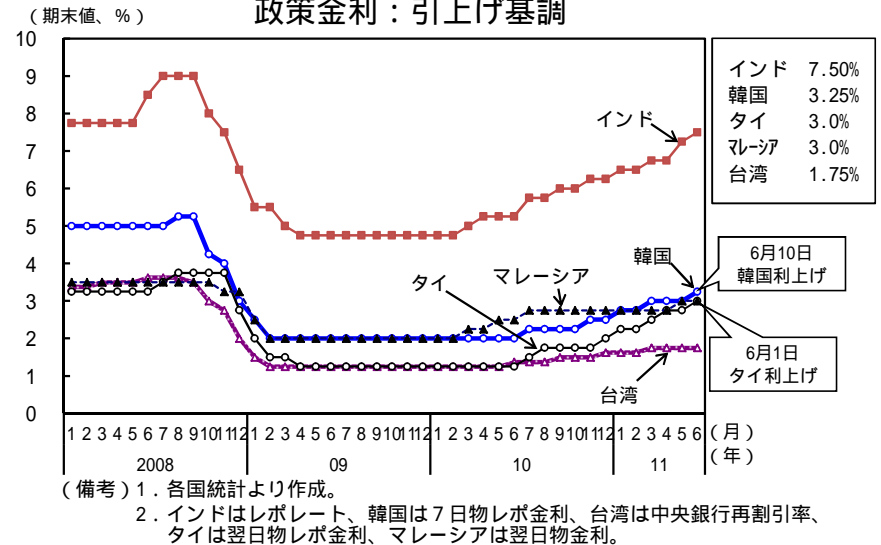
消費者物価上昇率：エネルギー価格等の上昇により 総じて高まっている



その他アジア 実質GDP成長率：堅調



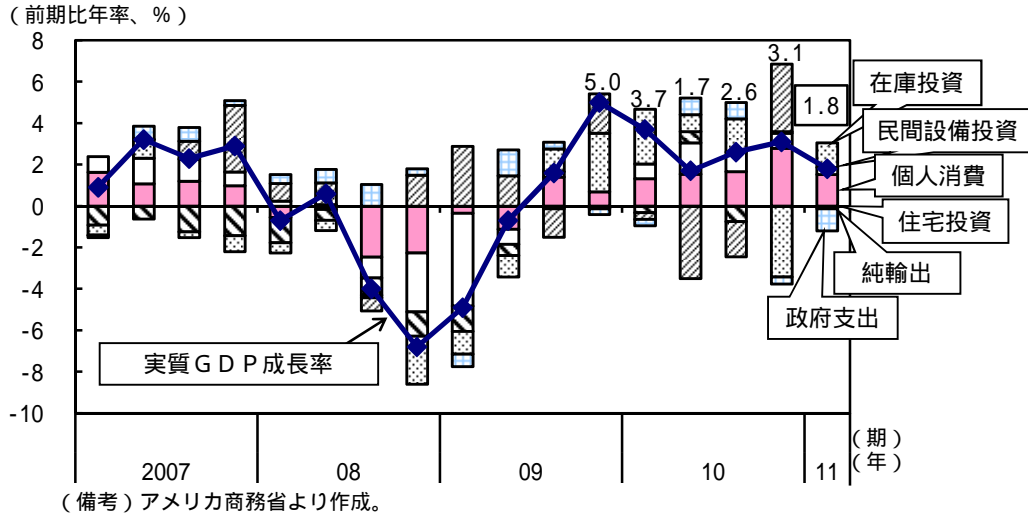
政策金利：引上げ基調



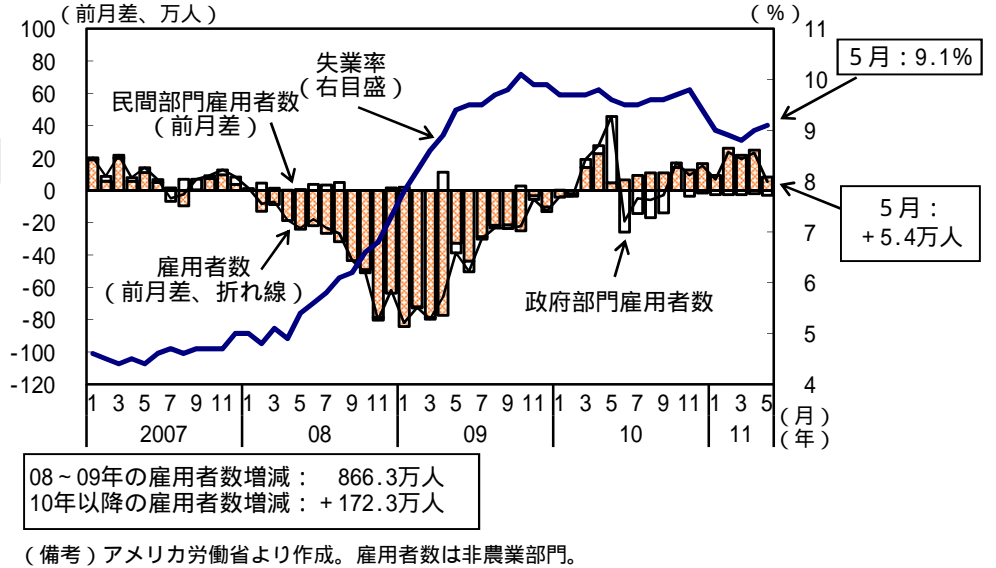
アメリカ経済

景気回復が緩やかになっている。
先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、失業率の高止まりや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。

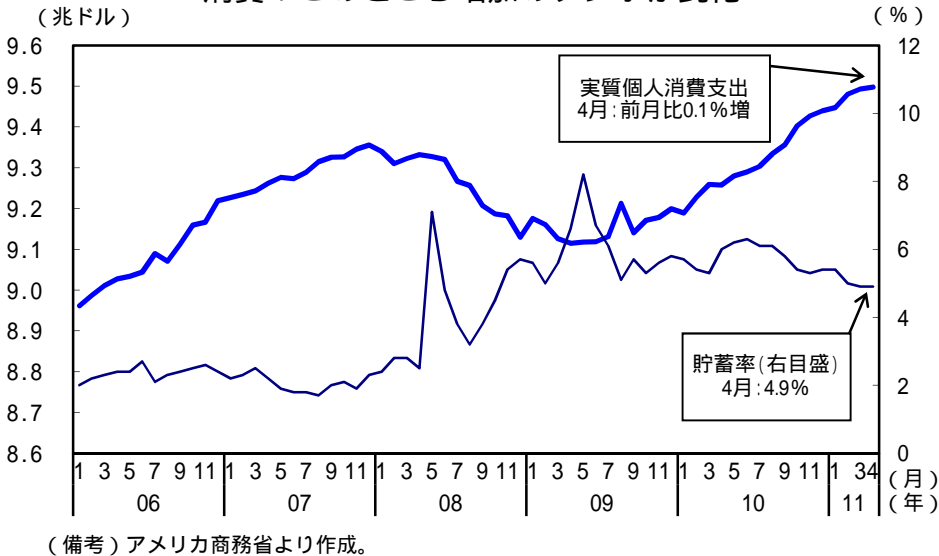
GDP (第二次推計値) : 2011年1~3月期は
前期比年率1.8%増



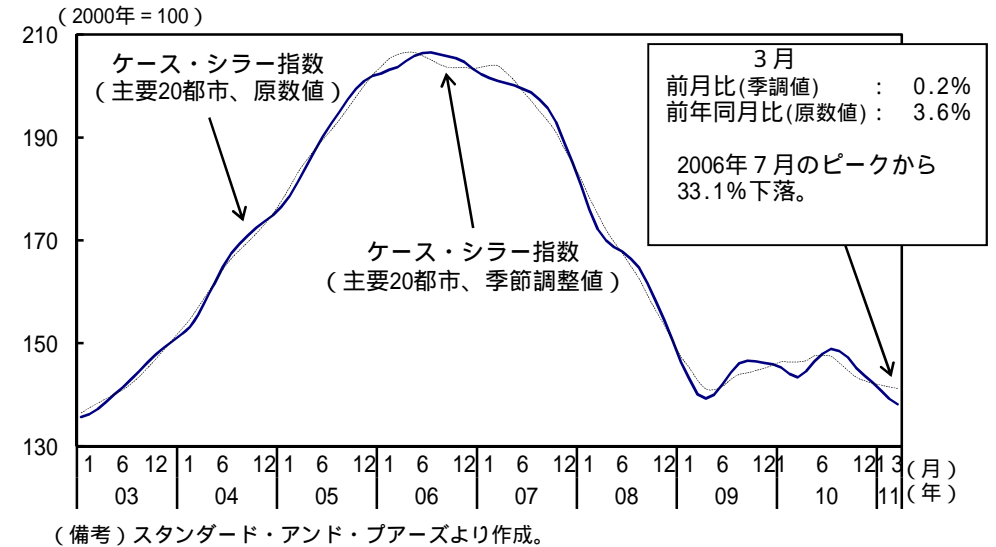
雇用：雇用者数はこのところ増加のテンポが緩やか、失業率は高い水準



消費：このところ増加のテンポが鈍化

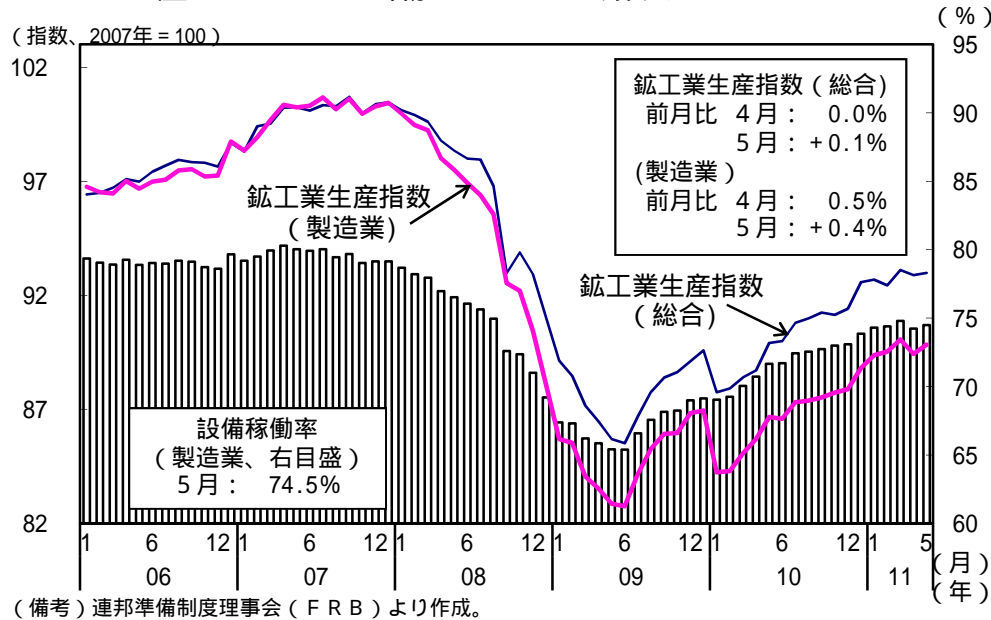


住宅：住宅価格は下落

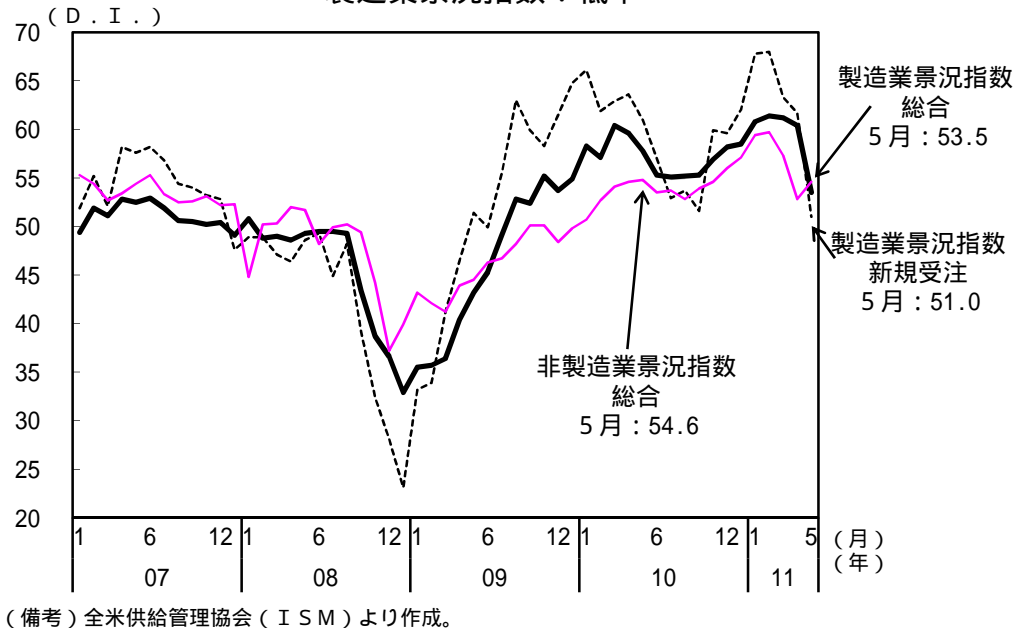


アメリカ経済

生産：このところ増加のテンポは緩やか



製造業景況指数：低下



連邦政府財政をめぐる最近の動向

1. 連邦債務の法定上限の引上げをめぐる動き
 - ・債務残高は、5月16日に法定上限(14兆2,900億ドル)に到達したため、法律上の規定に基づく特別措置により、若干の余裕を設けたところ。
 - ・現在の財務省の予測では、8月2日には最終的な上限に達する見通し。
 - ・仮に債務上限が引き上げられない場合は、「米国債がデフォルトに陥るリスク」。(ガイトナー財務長官からリード上院院内総務あて書簡)
2. 最近の動向
 - ・与野党の議会指導部とバイデン副大統領による、財政赤字削減に向けた議会超党派・政府の協議会を設置し、5月5日に初会合を実施。6月末までに最終合意をとりまとめ。
 - ・オバマ大統領は、23年までに2兆ドルの歳出削減を提案。一方、共和党は、今後10年間で5.8兆ドルの歳出削減を求める法案を下院で可決。
 - ・5月31日には、連邦債務の上限を2.4兆ドル引き上げる法案が下院で審議されたが、共和党の反対により否決。
 - ・6月1日には、オバマ大統領と共和党議会指導者との間で会談が行われたが、協議は物別れに終わるなど、調整は難航。

金融政策をめぐる最近の動向

1. 11年4月26～27日のFOMC
 - ・QE2(中長期米国債の購入)を予定通り6月末で完了。
2. バナンキ議長講演(6/7)のポイント
 - <景気の見通しについて>
 - ・今年に入って、これまでのところ、景気回復は想定よりも多少緩やかである。
 - ・年後半には多少勢いを増すだろう。
 - <金融政策について>
 - ・労働市場は徐々に改善しているが、失業率が高止まっており、雇用状況は正常からは程遠いままである。
 - ・最近の物価上昇は一時的。労働需要が依然として弱いこと、長期のインフレ期待が安定していることから、物価は中期的には抑制された水準に戻るであろう。
 - ・アメリカ経済は依然として潜在的な水準を大幅に下回っており、緩和的な金融政策が引き続き必要である。
3. ベージュブック(6/8)のポイント
 - ・経済活動は全体として拡大しているが、12地区のうち4地区で成長のペースが緩やかになった。(4地区…ニューヨーク、フィラデルフィア、アトランタ、シカゴ)

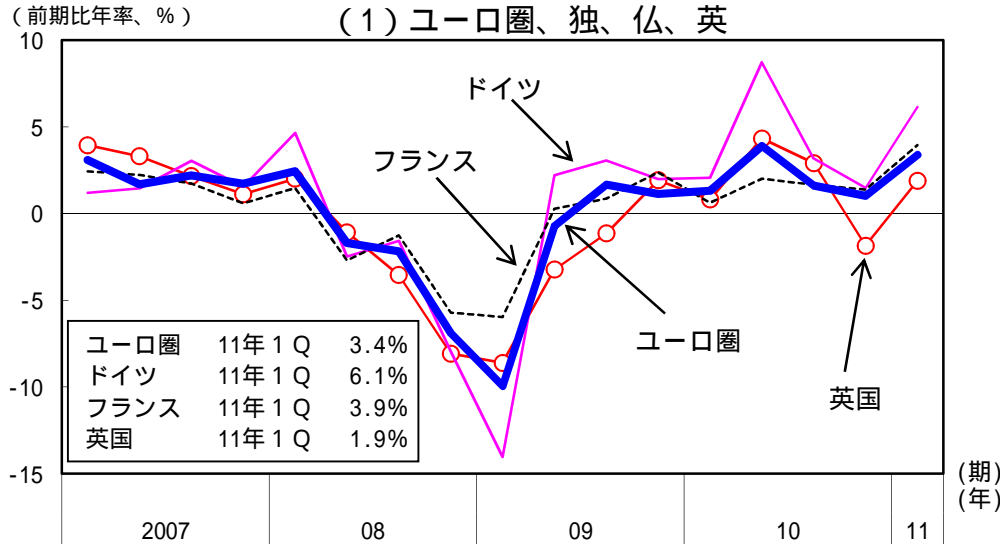
ヨーロッパ経済

ヨーロッパ地域では、景気は総じて持ち直しているものの、国ごとのばらつきが大きい。ドイツでは回復、フランスでは緩やかに回復している。英国では足踏み状態にあるが、一部に弱い動きがみられる。

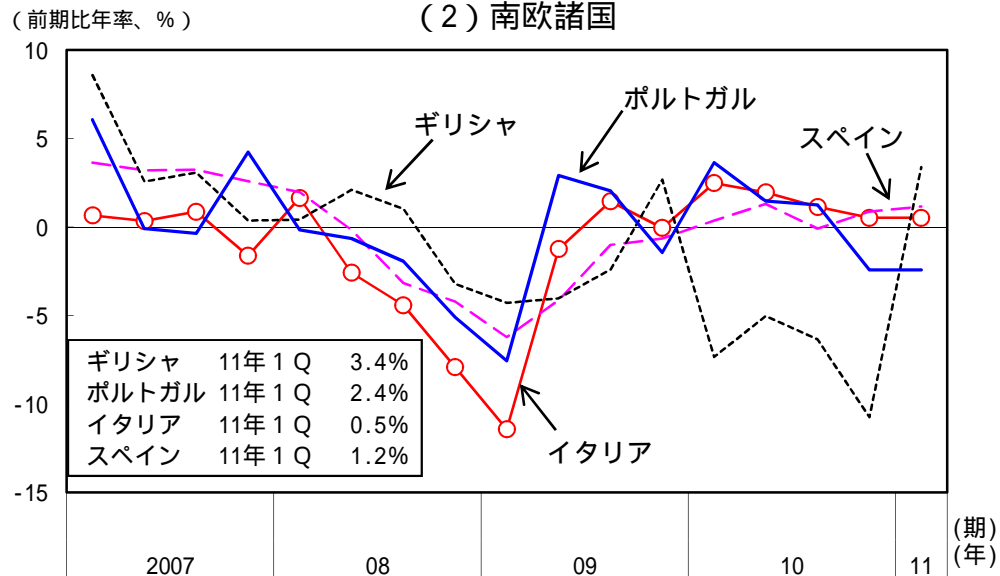
先行きについては、基調としては緩やかに持ち直していくと見込まれる。ただし、各国の財政緊縮による影響に留意する必要があるほか、一部の国々における財政の先行き不安を背景に金融システムに対する懸念があること、高い失業率が継続すること等により、景気が低迷するリスクがある。

実質GDP成長率：ばらつき

(1) ユーロ圏、独、仏、英



(2) 南欧諸国



(備考)ユーロスタット、ドイツ連邦統計局、INSEE(仏国立統計経済研究所)、英国統計局より作成。

財政状況・格付け

	主要格付け機関による格付け									一般政府 財政収支 GDP比	一般政府 債務残高 GDP比
	ムーディーズ			S & P			フィッチ				
	格付け	クレジット ウォッチ	格付け 見直し	格付け	クレジット ウォッチ	格付け 見直し	格付け	クレジット ウォッチ	格付け 見直し		
ポルトガル	Baa1	[N]	-	BBB-	[S]	[N]	BBB-	[N]	-	9.1	93.0
イタリア	Aa2	[N]	-	A+	[S]	[N]	AA-	[S]	[S]	4.6	119.0
アイルランド	Baa3	[S]	[N]	BBB+	[S]	[S]	BBB+	[S]	[N]	32.4	96.2
ギリシャ	Caa1	[S]	[N]	CCC	[S]	[N]	B+	[N]	-	10.5	142.8
スペイン	Aa2	[S]	[N]	AA	[S]	[N]	AA+	[S]	[N]	9.2	60.1
日本	Aa2	[N]	-	AA-	[S]	[N]	AA-	[S]	[N]	8.1	199.7
アメリカ	Aaa	[S]	[S]	AAA	[S]	[N]	AAA	[S]	[S]	10.6	93.6

- (備考) 1. ブルームバーグ、欧州委員会、OECDより作成。
 2. 格付けは、本国通貨建て長期債務のもの。また、クレジットウォッチは、本国通貨建て長期債務の格付け短期的な方向性を示す。[N]、[S]、[P]は、それぞれ"Negative Watch"、"Stable"、"Positive Watch"を示す。
 3. 格付け見直し(アウトルック)は、格付けの中期的な方向性を示す。[N]、[S]、[P]は、それぞれ"Negative Watch"、"Stable"、"Positive"を示す。例えば、S & Pでは通常6か月間から2年間を念頭に置いている。
 4. シャドウ部分は、前月例経済報告時点からの変更を示す。

ギリシャの最近の動き

2010年5月・総額1,100億ユーロのギリシャ支援に合意

< 第5回融資実行:総額120億ユーロ(ユーロ参加国87億ユーロ、IMF33億ユーロ) >

6月9日・ギリシャ政府が財政再建策を閣議決定、議会に提出

6月15日・大連立協議失敗、内閣改造発表(17日)

6月19日・ユーログループ会合において、第5回融資のうちユーロ参加国分の実行について議論

7月中旬まで・財政再建策の実行を前提に、EU及びIMFによる第5回融資実行予定

< 追加支援 >

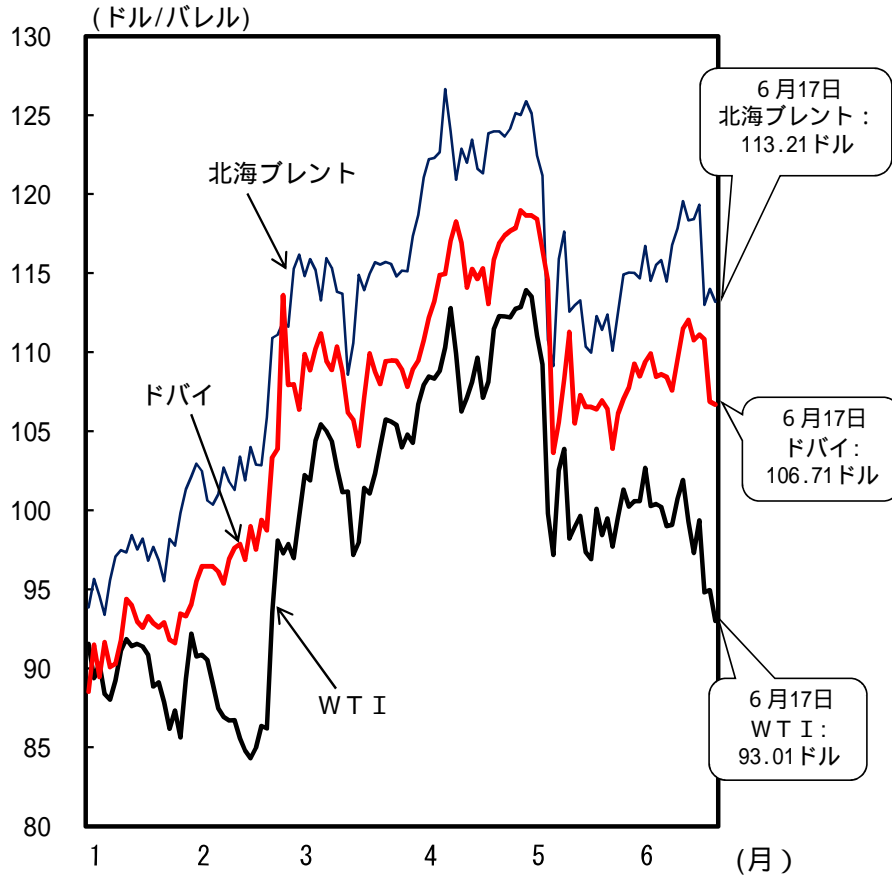
6月19日・ユーログループ会合において、ギリシャに対する追加支援の内容・条件等を議論、自発的な民間債権者の負担の検討を歓迎する方針

< 論点 > デフォルトと認定されないようにするためには、どうすれば良いか

7月11日・ユーログループ会合において、追加支援の内容・条件等を決定予定

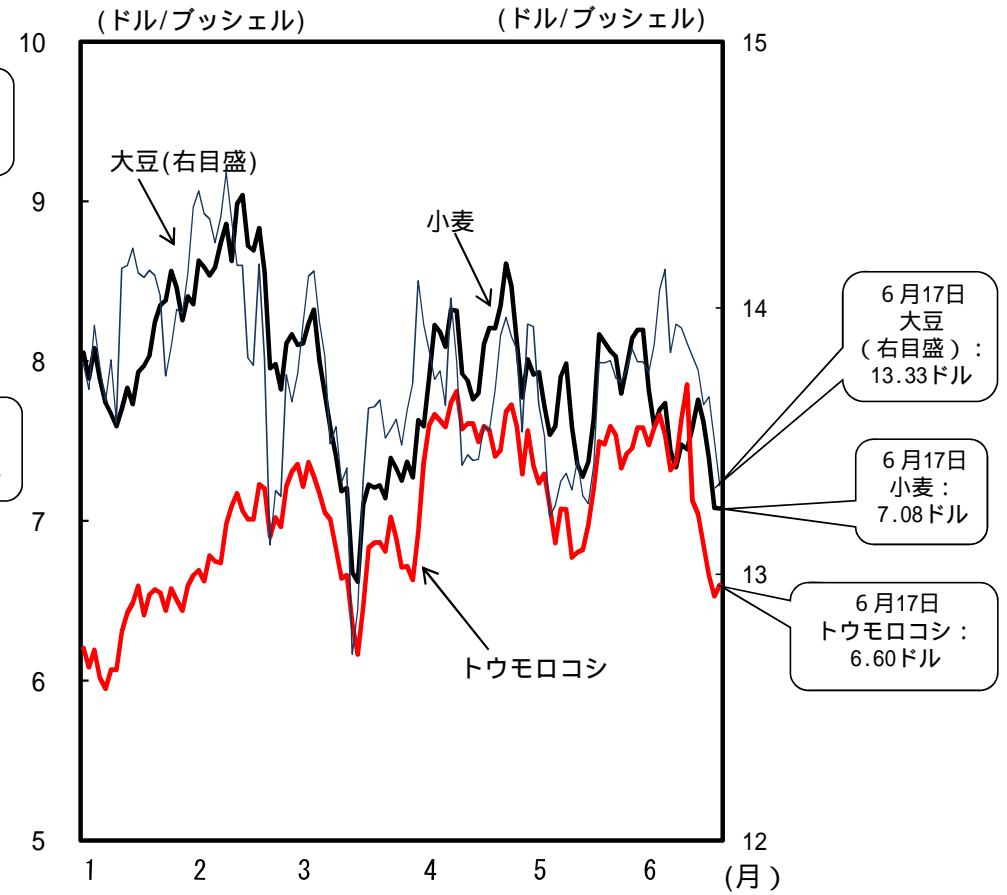
商品市場

原油価格



(備考) ブルームバーグより作成。

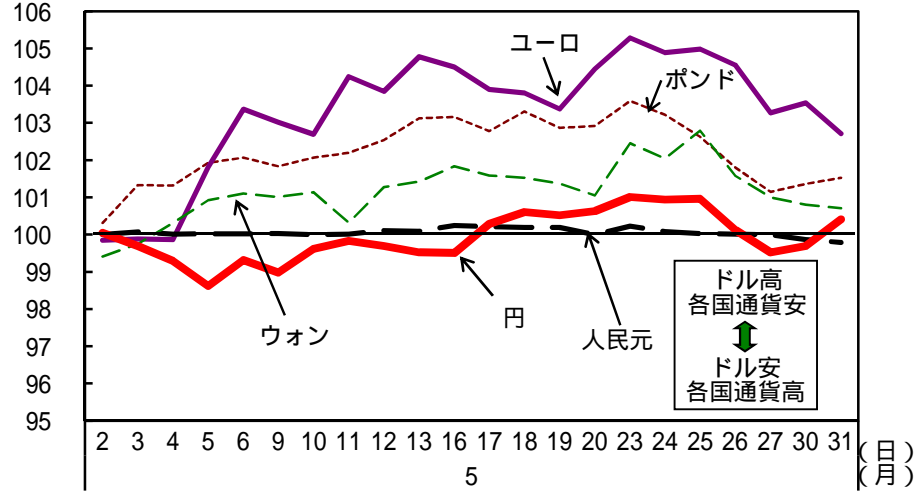
農産物価格



為替・株式市場

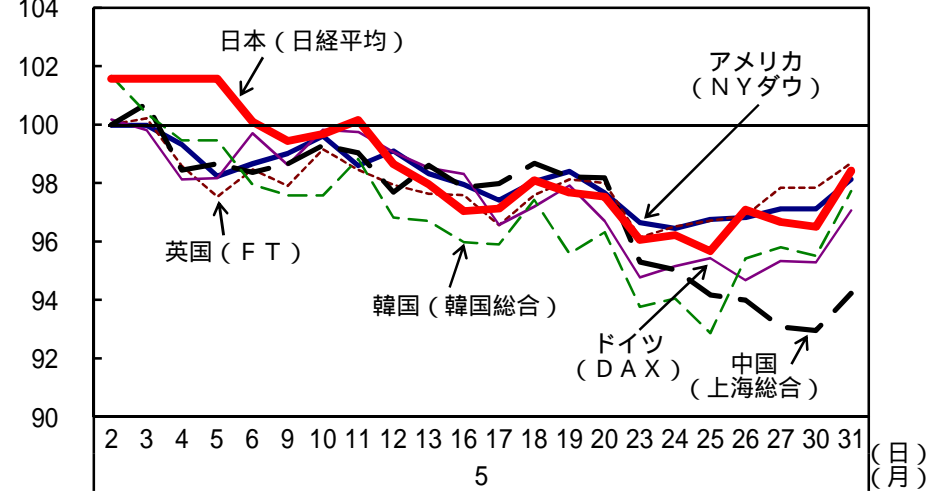
為替市場 (5月)

(対ドルレート、
2011年4月29日 = 100)



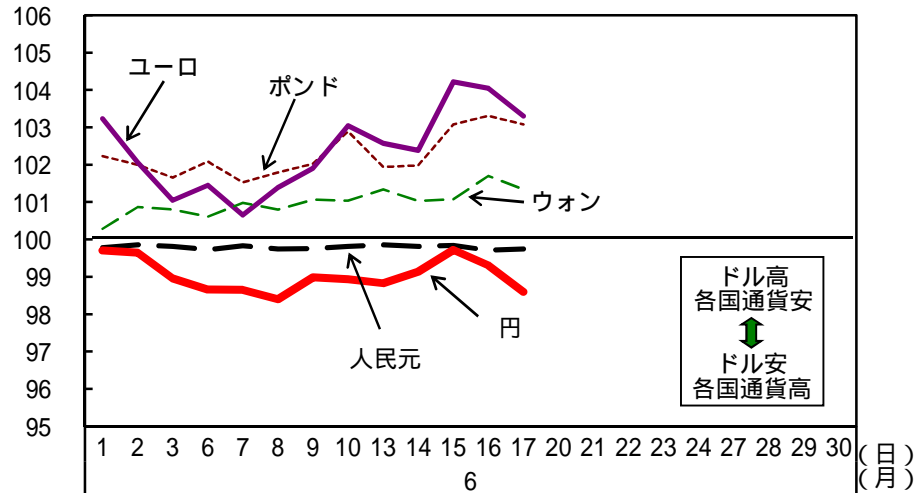
株式市場 (5月)

(2011年4月29日 = 100)



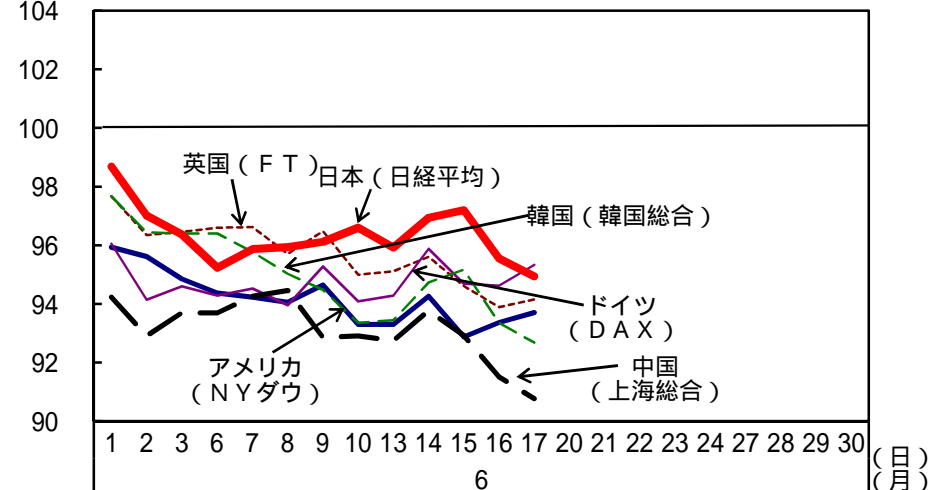
為替市場 (6月)

(対ドルレート、
2011年4月29日 = 100)



株式市場 (6月)

(2011年4月29日 = 100)



(備考) ブルームバーグより作成。

(備考) ブルームバーグより作成。